

第 9 回大学図書館 学生協働交流シンポジウム

2019 年 9 月 5 日（木） - 9 月 6 日（金）

島根大学松江キャンパス

9 月 6 日（金） 実施
ワークショップ成果物

DJ グループ※ 企画シート

※D グループと J グループが合体している

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	図書館施設の空き時間 活用	グループ名	DJ-①
企画の背景・動機	- 違う学部や学科の先輩と話し、違う学部・学科の授業にも興味を持ったが参加は難しい。 - 単位が決められていてそれ以上取れなかったり、他学部は参加しづらい。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	- 引き受けてくれる先生がいっぱいいるか。 - 参加してくれる生徒がいるのか。
企画内容	- ゼミラ参加可能。 - 普通の講義と同じく固定生徒有。 - 部屋の区切りなしの場所。 - 一般大衆向けの講義。 - 一覽を作る。 - 地域の人と協働 - 先生のみでなく生徒にも。(一般応募)	メモ欄	先生との交流会 →少ない方が深く話せる。
企画の目的(ゴール)	多くの人に図書館を利用してもらう。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「"やりたいこと"を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	泊まれる図書館	グループ名	DJ-②
企画の背景・動機	図書館の本に囲まれて寝たら最高に幸せだと思ったから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・衛せい面。 ・運営をどうしていくか。 ・費用がかかりそう... → 回収をどうするか
企画内容	・館内に大きなソファでくつろげる空間を作ったり、個室の部屋を用意して宿泊できるようにする。 ・おふるせドリンクバーもあり！ ・アロマキャンドルやクッション、ぬいぐるみを置いてリラックスできる空間を作る	メモ欄	・予約もできる。 ・開館時間を24時間にする。 ・学生優先にする。→ テスト期間ない。 ・"図書館の中で本を感じて過ごす"ということを中心にしてスマホ持ち込み禁止
企画の目的(ゴール)	・図書館が快適に過ごせた！という気持ちを持ってもらう。 ・話題、インスタ映えをねらって利用層を広げる。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	がチャ本	グループ名	DJ-③
企画の背景・動機	・ 様々な本を読みたい	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・ がチャがチャの機械、て買える？ ・ 気ずかれる？（デジニールにあるくらい大きいと...） ・ がチャがチャがチャそうならくじ
企画内容	・ がチャがチャをやり、またカサセルの中にある番号と対応した本を貸し出す。 ・ 本のジャンルを分けて2コおくか1コに絞る ・ 本をおらかじめがチャがチャ用に分ける（新着図書とか...?） ・ 2ニア向けと一般向けに分ける（1人の著者だけ?）	メモ欄	
企画の目的（ゴール）	・ 遊びの要素がある図書館 ・ 自分が普段見ない新しい本との出会い		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「“やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	他大学図書館との共同イベント	グループ名	DJ. ④
企画の背景・動機	・ワールドワイド等みんな様々な意見をもっているし、図書館についても知っているのだから、一緒に共同して企画を考えたりして実行することがワクワクすると思うから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・費用があまり ← 近隣の大学 ・バイト、サークル
企画内容	・自分のいる大学の人 + 他大学の人で何か共同して企画案をつくる。 ・図書館の特徴を生かせるようなことを考える	メモ欄	図書館以外の団体
企画の目的(ゴール)	・他大学の人と交流し、いろんな価値感にふれることかと思う ・連絡先など交換し、コミュニティをつくればいいと思う ・文化祭などでイベントとか、何かしらイベントしたい		

代表

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	ナイトツアー	グループ名	DJ-⑤
企画の背景・動機	閉館作業をしている時、暗くなった図書館は少し怖いけどワクワクしているの、それを利用者さんにも共有できたらおもろいと思ったから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	人が集まるか → 集まりやすそうな日を選ぶ!! ナイトツアーと関連が深いような場所、行事などを探
企画内容	・閉館作業後に館内ツアーをする。 ・照明はつけず、懐中電灯の明かりのみ。 ・館内を見ることがメインだけど、肝心の要素も少し入れたい。 ・参加者のリストをツアー前に作っておいて終わった時に全員いづか確認する。 ・司書課程の授業で呼びかけてみる。 ・ゴール地点からイルミネーションとかが見えるようにする。	メモ欄	・ブラックライトで使う。 ・怖い本の朗読などあったら、企画
企画の目的(ゴール)	・より身近に図書館を感じてもらう ・図書館の新しい一面を知ってもらう		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「“やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	新たな本との出会い	グループ名	DJ-6
企画の背景・動機	◦ ゆくゆくすることは、新しいものと出会い、たまたま”と思うから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	◦ 見たことある、知っている表紙は”ハジ”にな、てしまっているのではないかな。 ↳ マイナーな本を扱う。
企画内容	タイトル、内容を表紙せず、表紙のデザインのみをみて借りる本を選ぶ企画。	メモ欄	◦ 表紙のイメージだけでコメントカードを作る ◦ 装丁を行っている人について説明を書く
企画の目的(ゴール)	◦ 本を読むこと、図書館、でこんなにかくゆくするんだ、と思、てもらう。 ◦ 未知との遭遇が出来る図書館をつくりたい。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	図書館ビンゴ	グループ名	DJ-⑦
企画の背景・動機	新しいものに挑戦するときの、ワクワクする気持ちも、ゲーム感覚で取り入れられればいいと思ったから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・景品を用意したら、どんなものがいいのか。 ・本当に読んだか確かめる？ どうやって？
企画内容	ビンゴゲームみたいに、ビンゴシートに本のタイトルを載せ、読んだ本の箇所にも丸を付けたら、穴を開ける。ビンゴしたら景品とか。 ビンゴシートは主催者側が、本のタイトルを載せたものを用意する。種類豊富 対象者は主に学生	メモ欄	・しおりとか ・貸し出しレシートも貼りつけてもらう ・本にまつわるクイズを載せておく
企画の目的(ゴール)	読んだことのないジャンルの本に挑戦できる機会を作る。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	表紙 ディスプレイ	グループ名	DJ-⑧
企画の背景・動機	本の内容や作者とは離れた部分で、来館者が本を選ぶことができれば、新しい本と出会うことができると考えた	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	カリウレたあと、展示をどのように保つか？デザインが変わる、2しまり？
企画内容	本の表紙デザインをもとに展示する本を選ぶ、テーマに沿って本をディスプレイする (例) 本の表紙を使ってモザイクアートをつくる 表紙カラーごとに分けて2グループをつくる 魚のイラストの表紙だけをあつめて水族館のように展示	メモ欄	- 表紙のコピーをあらかじめ貼っておくこと - カリウレたあとでデザインを保つ - 期間を決めて展示を変える必要が - そのコーナーを撮影可能にして、SNSに投稿してもらう ← 広報 - テーマを季節にあったものにする - その本を探している利用者のために事前にOPACを変更しておく - アートデザインを利用者から募集してコンテストをおこなう
企画の目的(ゴール)	- これまであまりカリウレなかった本がカリウレるようになる - 来館者に本をワクワクしながら選んでもらう		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	本好き集合フェス	グループ名	DJ-9
企画の背景・動機	・グループのみなさんのアイデアリストをいろいろ盛り込むことができる ・多くの企画が実現し、「楽しそう！」と楽しくなる人も沢山いる。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・実行するには主催者の方針が必要。 ・一体となり楽しむためには事前準備が必要。 ・万全である必要がある。
企画内容	①本好きが集まる様々な企画を行う。 ・集まる人びとが行う書きあわせリレー小説 ・本を好きで寄る。 ・BINGO (タイトル) ・フリース(空間)にこだわる(テーマ設定) ・本に登場した料理を再現して食べられるコーナーを作る。 ・初めにテーマに沿った本をセレクトして夜まで楽しむ企画	メモ欄	
企画の目的(ゴール)	・参加者、主催者が一体となり、交流を深め、つながる ・ふじの図書館に来ない人にも参加してもらえ企画		